

忘れて171? 災害用伝言サービス

～事前に決めておこう、安否確認の手段～

災害用伝言ダイヤル171 & 災害用伝言板 web 171

大規模災害が発生すると、停電や通信インフラの損壊、混雑などにより、連絡が取りにくくなるのが想定されます。そんなときに伝言を残せるサービスが災害用伝言ダイヤルです。体験利用ができる日もありますので、いざというときに使えるよう平時から準備しておきましょう。

災害用伝言ダイヤル171の利用方法 (携帯電話の番号でも登録可能)

伝言の録音方法

- 1 **171** にダイヤルする
▼ ガイダンスが流れます
- 2 録音する場合は **1** 暗証番号を利用する録音は[3]
▼ ガイダンスが流れます
- 3 ()- ()
被災地の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
※被災地内のかたも、市外局番が必要です。

伝言の再生方法

- 1 **171** にダイヤルする
▼ ガイダンスが流れます
- 2 再生する場合は **2** 暗証番号を利用する再生は[4]
▼ ガイダンスが流れます
- 3 ()- ()
被災地の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
※被災地内のかたも、市外局番が必要です。

災害用伝言板web171の利用方法

登録方法

- 1 <https://www.web171.jp> にアクセス
- 2 電話番号を入力
()- ()
被災地の電話番号*・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を入力してください。
※市外局番から入力してください。
- 3 画面の指示に従って、
文字による伝言を登録してください。

閲覧方法

- 1 <https://www.web171.jp> にアクセス
- 2 電話番号を入力
()- ()
被災地の電話番号*・携帯電話・PHS・IP電話の電話番号を入力してください。
※市外局番から入力してください。
- 3 画面の指示に従って、
文字による伝言の追加登録をしてください。

体験利用について

1月は体験利用日が多く設定されています。この機会に、家族・親戚・友人間で体験してみてください。
※実際に災害が発生した際には、体験利用できない場合があります。

体験利用日

- 毎月1日および15日 (0時～24時)
- 正月三日 (1月1日0時～3日24時)
- 防災週間 (8月30日9時～9月5日17時)
- 防災とボランティア週間 (1月15日9時～21日17時)

2000年に「かどや」の蔵から偶然発見された「長尾オルガン」は、松阪市の長尾製作所で作られた日本最古の和製オルガンです。
発見当初は音も出ない状態だったものを、市民の有志で専門家に修理を依頼し、演奏可能な楽器としてよみがえりました。その際の調査で日本に3台しか現存しない貴重なオルガンだと分かり、その修繕や保存を目的に当会が結成されました。貴重なオルガンを保管するだけでなく、その価値や音色の魅力を広めるため、かどやや市内の老人ホーム・小学校などで毎年数回演奏会も行っています。「明治の音色を人のところに」。時間に追われがちな普段の生活に、長尾オルガンの音色が「ひとときの癒し」になれば。その想いは、音色を聴いた人たちにも少しずつ広まっています。

108SMILE 市民活動団体紹介 つながり. 20

「鳥羽長尾オルガン協会」

108SMILE ホームページ
URL <https://108smile.jimdofree.com/>



市民課人権・市民交流係
☎ 25 1126

高齢のかたとっては、ふるさとや、幼少期を思うたりする機会にもなり、感動で涙ぐむ人もいます。また、オルガンの音色に合わせて一緒に大きな声で歌うことで、心と体を治し癒してくれます。子どもたちにとっては、電気で作られた音ではない音色の「魅力」が新鮮で癒しを感じる機会になっており、その音色に魅了され、「弾いてみたい」と目をキラキラさせます。
今後の目標は、このオルガンを弾きこなせるようなオルガニストを養成していくことです。実は演奏は難しく、講習会を開催したほどです。聞き手ばかりでなく、弾き手を育てていくことで、今後の残し方や在り方にもつながっていくのではないかと考えています。
次の世代にもこの音色を聴いてもらえることを願い、貴重で優しいオルガンの音色を今後もみなさんへお届けしたいと思います。



一人一人が備えてこ！
防災力UP!鳥羽
総務課防災危機管理室
☎ 25 1118
vol.115

